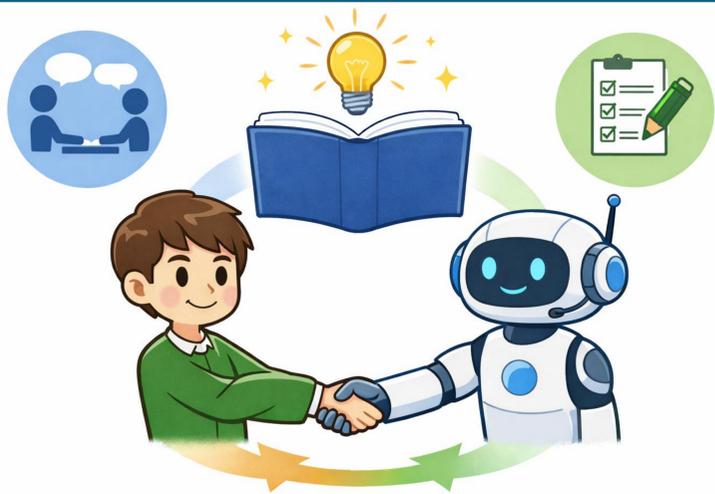




AETHER

AIと人の伴走で拓く、自立学習の未来



1. プロジェクトの概要

今日の日本では、教員不足と学歴競争の激化により家庭環境や地域による環境格差が目立っている。「塾に通うことが前提」となっていく社会で生徒がひとりで学習習慣をつけることは非常に難しい。そこで私たちは、「生徒が塾に依存せず学習を継続できる力を育てる」「人の負担を減らし、AIを活用した学習習慣モデルを構築する」ことを提言とし、プロジェクトAetherを立ち上げた。

2. 足利市での実装

以上の提言を踏まえ、以下の方法で実装を行った。

対象: 栃木県足利市立富田中学校 中学2年生1名 / 中学3年生4名

期間: 夏休み

チューター: 日比谷高校global委員会プレミアムメンバーから9名

目的: 生徒が自ら学習計画を立てて、夏休み後も自立した学習を継続できること

実施内容:

生活・学習状況のヒアリング
AIによる学習計画作成
毎日のチャット報告
状況に応じた学習計画の調整
週1回の振り返り面談

単に学習計画サポートだけでなく、生徒が自走できる環境づくりを目指す



写真: 足利市での成果報告の様子

3. 成果と考察



最もやる気が出た瞬間:
普段のチャット
(最高評価)



モチベーションの変化:
変化がなかった
生徒は「0人」



プロジェクト満足度:
全体的に極めて
高い評価

夏休みプロジェクトの実施後のアンケートでは高い評価を得ることができた。また普段のチャットがやる気につながったという声が多かった。ただ、AI活用に関しては準備にかかる時間であったり、ハルシネーションという観点で否定的な意見が見受けられた。

【考察】

この夏の経験から生活習慣から支える手厚いサポートが学習習慣を作ることが分かった。ただ人の手では限界があるため、AIの活用がやはり必要であると考えた。また、先輩や友達のような存在がいることで、親近感が湧いて学習に対する意欲も向上することが分かった。そして、チャットや週に一度の面談を通して、生徒を他人と比較したり、勉強を強制したりするのではなく、できたことを褒める声掛けも継続的な学習につながる事が分かった。

4. 今後の展望

この夏休みの取り組みを受けて、学習習慣を支援するAI「まなとも」の作成に取り組むことにした。

【まなともコンセプト】

「先生」よりも近く、「友達」よりも頼りになる。

背中を押してくれるのは、厳格な指導者ではなく、一番近くで見守ってくれる先輩や親友のような立場のAIを目指している。

【まなともの特徴】

1. 頑張った瞬間、となりにいる。[即レス即励まし機能]

勉強の孤独をゼロに。問題を解いたその瞬間に、AIがあなたの努力に反応する。「今の解き方、冴えてるね!」「あと一歩、一緒に頑張ろう」生徒に対する適切な励ましで、モチベーションを保つ。

2. 「整える」から、はじめる。[朝の健康調査機能]

学習習慣の土台は、すこやかな体と心から。毎朝の体調や気分を記録し、その日のあなたに最適な学習ペースを提案する。無理なく、着実に。生活リズムから変えていくのが「まなとも」のサポート方法だ。

【今後の展望】

2月
・足利市の中学校でプロンプトを実際に使用
・現場で使いつつ修正

3月
足利市への引継ぎ
ブラッシュアップ